

Ver 1.0

**オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく  
温室効果ガス吸収プロジェクト申請書**

<b>プロジェクト名</b>	SGHグループ保有山林長期経営プロジェクト
<b>プロジェクト 代表事業者名</b>	佐川林業株式会社 代表取締役社長 小林康男 印

**提出日** 21年12月11日

**受理日** 年 月 日

**最終版提出日** 年 月 日

<b>A:参加者情報</b>			
<b>プロジェクト代表事業者 ※1</b>			
事業者名(フリガナ)	佐川林業株式会社 (サガワリングョウカブシキガイシヤ)		
住所	京都市南区上鳥羽角田町 68 番		
代表者氏名	小林康男	担当者氏名	田代文彦
担当者所属		担当者役職	取締役
担当者 E-mail	f_tashiro@sagawa-exp.co.jp	担当者電話番号	075-691-6500
<b>プロジェクト事業者 ※2</b>			
事業者名(フリガナ)	志波正歳事務所(土地家屋調査士) (シバマサトシジムシヨ) 吸収量算定確認者		
住所	和歌山県田辺市中屋敷町 16 番地の 1		
代表者氏名	志波正歳	担当者氏名	志波正歳
担当者所属		担当者役職	佐川林業(株)顧問
担当者 E-mail	shibajimusyo@comet.ocn.ne.jp	担当者電話番号	0739-22-2428
<b>その他プロジェクト参加者 ※3,4</b>			
事業者名(フリガナ)	佐川急便株式会社 (サガワキョウビンカブシキガイシヤ)		
住所	京都市南区上鳥羽角田町 68 番		
代表者氏名	近藤宣晃	担当者氏名	田代文彦
担当者所属	総務部	担当者役職	管財担当
担当者 E-mail	f_tashiro@sagawa-exp.co.jp	担当者電話番号	075-691-6500
プロジェクトでの役割	海南山林の一部の土地所有者		
<b>オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5</b>			
事業者名(フリガナ)	佐川林業株式会社 (サガワリングョウカブシキガイシヤ)		
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※6			

※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。代表者以外の主なプロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。

※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減・吸収活動を実施する者を指す。代表者と同一の場合は、その旨を記載すること。

※3:その他プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。  
・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者

※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。

※5:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト参加者(代表者、プロジェクト事業者、その他)のうちいずれかであること。

※6:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。

## B:プロジェクト活動の概要①

項目																																									
B.1 プ ロ ジ エ ク ト 活 動	<p><b>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</b></p> <p>1. プロジェクトの目的</p> <p>C02を大量に排出する陸運事業会社がグループ中核を占めるSGHグループの一員として、C02削減を積極的に行う責任があり、持続可能な森林経営を行うことにより、グループ保有山林によるC02吸収量の増加を図ることを目的としております。</p> <p>2. プロジェクトの内容</p> <p>長期間にわたり施業放棄されていた山林に対して、林齢や周囲の山林の状況を考慮し、適切な施業を行うことにより、健全で持続可能な山林へと育成いたします。</p>																																								
	<p><b>B.1.2 プロジェクト実施前の状況</b></p> <p>多くの山林が、長期間の施業放棄により、不健全な山林となっております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>林齢(齢)</th> <th>ヒノキ面積 (ha)</th> <th>割合 (%)</th> <th>スギ面積 (ha)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～20</td> <td>93.0</td> <td>50.0</td> <td>112.0</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td>21～40</td> <td>80.0</td> <td>43.2</td> <td>203.0</td> <td>59.9</td> </tr> <tr> <td>41～60</td> <td>6.0</td> <td>3.2</td> <td>10.0</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>61～80</td> <td>6.0</td> <td>3.2</td> <td>14.0</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>81～100</td> <td>0.</td> <td>00</td> <td>0</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td>101～120</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>185.0</td> <td></td> <td>339.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	林齢(齢)	ヒノキ面積 (ha)	割合 (%)	スギ面積 (ha)	割合 (%)	1～20	93.0	50.0	112.0	33.0	21～40	80.0	43.2	203.0	59.9	41～60	6.0	3.2	10.0	2.9	61～80	6.0	3.2	14.0	4.1	81～100	0.	00	0	0.	101～120		0	0	0	合計	185.0		339.0	
	林齢(齢)	ヒノキ面積 (ha)	割合 (%)	スギ面積 (ha)	割合 (%)																																				
1～20	93.0	50.0	112.0	33.0																																					
21～40	80.0	43.2	203.0	59.9																																					
41～60	6.0	3.2	10.0	2.9																																					
61～80	6.0	3.2	14.0	4.1																																					
81～100	0.	00	0	0.																																					
101～120		0	0	0																																					
合計	185.0		339.0																																						
<p><b>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</b></p> <p>当グループの保有する山林の約5割は標準伐期齢（約40年）に達しておりますが、当社は森林の公益的機能を高める長伐期施業を目指しており、皆伐対象となる山林が極めて少ないため、皆伐は当面予定いたしておりません。</p>																																									

	<p>また、当社は、弱齢林に対しては、市町村森林整備計画に基づく間伐率・方針で間伐・下刈等の適切な施業を行い、中高齢林に対しては、周囲の環境に適合した作業道の整備を行うことにより、保有山林を計画的な利用間伐等が実施可能となる長期的で継続的な CO2 の吸収を可能とする山林へ育成してまいります。</p> <p>プロジェクト対象山林 樹種別林齢別分布表</p> <table border="1" data-bbox="293 562 916 1055"> <thead> <tr> <th>林齢(齢)</th> <th>ヒノキ面積 (ha)</th> <th>割合 (%)</th> <th>スギ面積 (ha)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～20</td> <td>2.28</td> <td>1.52</td> <td>2.28</td> <td>0.77</td> </tr> <tr> <td>21～40</td> <td>71.22</td> <td>47.39</td> <td>138.33</td> <td>46.64</td> </tr> <tr> <td>41～60</td> <td>70.96</td> <td>47.22</td> <td>135.96</td> <td>45.84</td> </tr> <tr> <td>61～80</td> <td>3.15</td> <td>2.1</td> <td>13.61</td> <td>4.59</td> </tr> <tr> <td>81～100</td> <td>0.5</td> <td>0.33</td> <td>1.36</td> <td>0.46</td> </tr> <tr> <td>101～120</td> <td>2.17</td> <td>1.44</td> <td>5.05</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150.28</td> <td></td> <td>296.59</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	林齢(齢)	ヒノキ面積 (ha)	割合 (%)	スギ面積 (ha)	割合 (%)	1～20	2.28	1.52	2.28	0.77	21～40	71.22	47.39	138.33	46.64	41～60	70.96	47.22	135.96	45.84	61～80	3.15	2.1	13.61	4.59	81～100	0.5	0.33	1.36	0.46	101～120	2.17	1.44	5.05	1.7	合計	150.28		296.59	
林齢(齢)	ヒノキ面積 (ha)	割合 (%)	スギ面積 (ha)	割合 (%)																																					
1～20	2.28	1.52	2.28	0.77																																					
21～40	71.22	47.39	138.33	46.64																																					
41～60	70.96	47.22	135.96	45.84																																					
61～80	3.15	2.1	13.61	4.59																																					
81～100	0.5	0.33	1.36	0.46																																					
101～120	2.17	1.44	5.05	1.7																																					
合計	150.28		296.59																																						
<p>B.2 採用技術</p>	<p><b>プロジェクトで使用する設備・機器等</b></p> <p>当社は、施業に必要な設備及び機械類は保有しておりません。森林計画の立案・施業に関しては、各地域の森林組合に委託して、地域森林施業計画に沿った作業方針により、専門的な作業技術の提供を受けています。</p> <p>樹高の測定はワイゼ式測高器を使用し面積の測量にはコンパスを使用しています。</p>																																								
<p>B.3 プロジェクト実施</p>	<table border="1" data-bbox="341 1529 1165 1984"> <tr> <td data-bbox="277 1529 341 1809"> <p>実施事業所名</p> </td> <td data-bbox="341 1529 1165 1809"> <p>高知県香美市、徳島県海部郡、那賀郡山林</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1809 341 1984"> <p>住所</p> </td> <td data-bbox="341 1809 1165 1984"> <table border="1" data-bbox="357 1818 987 1984"> <tr> <td data-bbox="357 1818 987 1890"> <p>土佐山田山林 高知県香美市土佐山田町西又字エ市ダニ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1890 987 1939"> <p>高知県香美市土佐山田町西又字ミヨヲトイハ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1939 987 1984"> <p>高知県香美市土佐山田町西又字大サコ</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<p>実施事業所名</p>	<p>高知県香美市、徳島県海部郡、那賀郡山林</p>	<p>住所</p>	<table border="1" data-bbox="357 1818 987 1984"> <tr> <td data-bbox="357 1818 987 1890"> <p>土佐山田山林 高知県香美市土佐山田町西又字エ市ダニ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1890 987 1939"> <p>高知県香美市土佐山田町西又字ミヨヲトイハ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1939 987 1984"> <p>高知県香美市土佐山田町西又字大サコ</p> </td> </tr> </table>	<p>土佐山田山林 高知県香美市土佐山田町西又字エ市ダニ</p>	<p>高知県香美市土佐山田町西又字ミヨヲトイハ</p>	<p>高知県香美市土佐山田町西又字大サコ</p>																																	
<p>実施事業所名</p>	<p>高知県香美市、徳島県海部郡、那賀郡山林</p>																																								
<p>住所</p>	<table border="1" data-bbox="357 1818 987 1984"> <tr> <td data-bbox="357 1818 987 1890"> <p>土佐山田山林 高知県香美市土佐山田町西又字エ市ダニ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1890 987 1939"> <p>高知県香美市土佐山田町西又字ミヨヲトイハ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1939 987 1984"> <p>高知県香美市土佐山田町西又字大サコ</p> </td> </tr> </table>	<p>土佐山田山林 高知県香美市土佐山田町西又字エ市ダニ</p>	<p>高知県香美市土佐山田町西又字ミヨヲトイハ</p>	<p>高知県香美市土佐山田町西又字大サコ</p>																																					
<p>土佐山田山林 高知県香美市土佐山田町西又字エ市ダニ</p>																																									
<p>高知県香美市土佐山田町西又字ミヨヲトイハ</p>																																									
<p>高知県香美市土佐山田町西又字大サコ</p>																																									

場 所	高知県香美市土佐山田町西又字シモエツシウ
	高知県香美市土佐山田町西又字エツシウ
	高知県香美市土佐山田町西又字本乙ヤ
	高知県香美市土佐山田町西又字ミヨガノ畝
	高知県香美市土佐山田町西又字シレエダキ
	高知県香美市土佐山田町西又字カウチャハタゼ
	高知県香美市土佐山田町西又字ゴケズガタニ
	高知県香美市土佐山田町西又字ツエノサコ
	高知県香美市土佐山田町西又字ヒララノヤシキ
	高知県香美市土佐山田町西又字キヂヤガサコ
	高知県香美市土佐山田町西又字南キヂヤ
	高知県香美市土佐山田町西又字西久保
	高知県香美市土佐山田町西又字西久保ウ子
	高知県香美市土佐山田町西又字東大栃
	高知県香美市土佐山田町西又字西八丁
	高知県香美市土佐山田町西又字南大森
	高知県香美市土佐山田町西又字弥三郎畝
	高知県香美市土佐山田町西又字赤ノタヲ
	高知県香美市土佐山田町西又字西澤
	高知県香美市土佐山田町西又字小迫
	高知県香美市土佐山田町西又字東澤
	高知県香美市土佐山田町西又字本乙家
	高知県香美市土佐山田町西又字赤岩カゲ
	高知県香美市土佐山田町西又字信ヶ溪
	高知県香美市土佐山田町西又字仲尾
	高知県香美市土佐山田町西又字松村
	高知県香美市土佐山田町西又字楸我平
<b>2.海南山林</b>	
佐川林業(株) 保有林	
徳島県海部郡海陽町平井川又 139 番	
徳島県海部郡海陽町平井川又 140 番	
徳島県海部郡海陽町平井川又 192 番	
徳島県海部郡海陽町平井川又 193 番	
徳島県海部郡海陽町平井川又 194 番	

概要	徳島県海部郡海陽町平井川又 195 番
	徳島県海部郡海陽町平井川又 196 番
	佐川急便(株) 保有林
	徳島県海部郡海陽町平井川又
	3.上那賀山林
	徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字銚子ヶ谷
	徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字銚子ヶ谷
	徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字六丁目浦 1 番
	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四国全図に位置記載した地図添付</li> <li>・各山林の 1/25000 地図添付</li> </ul>

B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間		1996年 4月 1日 ~ 2013年 3月 31日 ( 16年 ヶ月)					
B.5 クレジット期間 ※1		2008年 4月 1日 ~ 2012年 3月 31日					
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	3,951 t	3,994 t	3,994 t	4,033 t	4,136 t	20,108 t
B.7 モニタリング報 告の頻度	年1回						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	平成 17 年度流域公益保全林整備事業他5件					
	補助金額 (申請額含む)	13,606,942 円					
	補助対象年月日	H16年 10 月 10 日 ~ H18年 3月 24 日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	森林組合との契約書、見積書及び契約書が存在します。					
B.9 他制度への申 請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / 無					
	制度名 (有の場合のみ)						
備考	(プロジェクトの排出削減・吸収量やプロジェクトの実施に影響を与える現在もしくは将来的なリスク要因(例えば森林火災、気象災害、病虫害やこれらに伴う排出量がプロジェクトの吸収量を上回るリスクなど)を特定し、影響の軽減措置を記述すること。) 補助金を受給した施業箇所は森林保険に加入し、山林全体で火災保険に加入している。						

※1:クレジット期間は、2008年4月1日~2013年3月31日の間で設定すること。

※2:想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3:海外の VER 制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクト

トによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。



<b>C:方法論の適用</b>		
<b>C.1 ポジティブリストの 適格性基準 との整合性</b>	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>002</u>
	条件	説明 ※1
	C.1.2 条件1	<p>当該プロジェクトは以下の森林施業計画の森林である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐山田山林 : 香美林山 19-6</li> <li>・海南山林 : 第 19388111 号</li> <li>・上那賀山林 : 第 19368314 号</li> </ul>
	C.1.3 条件2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該プロジェクト対象山林については、平成7年度「1995年」より、継続的に、市町村の森林整備計画沿った施業を実施し弱齢の人工林ほぼ全林分に対して間伐施業を行ってまいりました。</li> <li>・今年度も、保安林保全事業として、51haの本数調整伐を行っております。</li> </ul>
<b>C.2 適用方法論</b>	C.1.4 条件3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社保有の山林は、市町村の森林施業計画番号の認定を受けており、施業計画に基づく施業を行なっております。</li> <li>・間伐の売り上げで利益が出ませんので、伐採証明書の交付は受けていませんが、森林組合に委託して実施していますので、補助金請求時の検査書が組合に有ると考えられます。</li> <li>・土佐山田山林 : 香美林山 19-6</li> <li>・海南山林 : 第 19388111 号</li> <li>・上那賀山林 : 第 19368314 号</li> </ul>
	方法論番号	JRAM <u>002</u>
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大（持続可能な森林経営の促進型プロジェクト）に関する方法論

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>準拠の説明</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない	
準拠の説明	説明							
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない								
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない								
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する								

	<p>C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択</p>	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" data-bbox="550 371 1404 1052"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 371 703 465">モニタリングパラメータ</th> <th data-bbox="703 371 946 465">モニタリングパターン</th> <th data-bbox="946 371 1404 465">選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 465 703 568">活動量</td> <td data-bbox="703 465 946 568"> <input type="checkbox"/> 森林 GIS  <input checked="" type="checkbox"/> 実測                 </td> <td data-bbox="946 465 1404 568">補助金申請時に実測している為</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 568 703 810">拡大係数</td> <td data-bbox="703 568 946 810"> <input type="checkbox"/> 実測  <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等                 </td> <td data-bbox="946 568 1404 810">京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する補足情報に関する報告書の値を使用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 810 703 1052">収穫予想表</td> <td data-bbox="703 810 946 1052"> <input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等)  <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)                 </td> <td data-bbox="946 810 1404 1052">市町村で使用されている林分集収穫表を使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測	補助金申請時に実測している為	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する補足情報に関する報告書の値を使用	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	市町村で使用されている林分集収穫表を使用
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由												
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測	補助金申請時に実測している為												
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する補足情報に関する報告書の値を使用												
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	市町村で使用されている林分集収穫表を使用												
<p>C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)</p>	<p>C.4.1 ベースラインシナリオの特定</p>	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>森林を適切な状態に保つ為に必要な間伐・主伐・植栽が1990年度以降に実施されていない状況。</p> <p>(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)</p> <table border="1" data-bbox="550 1541 1396 1736"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 1541 743 1635">データの信頼性・入手可能性</th> <th data-bbox="743 1541 1396 1635">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 1635 743 1686"> <input type="checkbox"/> 低い                 </td> <td data-bbox="743 1635 1396 1686"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 1686 743 1736"> <input checked="" type="checkbox"/> 低くない                 </td> <td data-bbox="743 1686 1396 1736"></td> </tr> </tbody> </table>	データの信頼性・入手可能性	説明	<input type="checkbox"/> 低い		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない							
データの信頼性・入手可能性	説明													
<input type="checkbox"/> 低い														
<input checked="" type="checkbox"/> 低くない														

	<p>(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施業計画通りに実施しない可能性</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">転用の可能性</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施業計画通りに実施しない可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない		転用の可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
	施業計画通りに実施しない可能性	説明											
<input type="checkbox"/> 可能性がある													
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない													
転用の可能性	説明												
<input type="checkbox"/> 可能性がある													
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない													
<p>C.4.2BLS に 関連した温室 効果ガス 排出源・吸収 源の特定</p>	<p>(温室効果ガス排出源・吸収源)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th style="width: 40%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス、地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>該当なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リーケージの種類</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td>プロジェクト対象地外での、吸収量を減少させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td>プロジェクト対象地外での、吸収量を増加させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	該当なし	リーケージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	プロジェクト対象地外での、吸収量を減少させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	プロジェクト対象地外での、吸収量を増加させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。
温室効果ガス排出源・吸収源	説明												
森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス												
上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	該当なし												
リーケージの種類	説明												
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	プロジェクト対象地外での、吸収量を減少させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。												
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	プロジェクト対象地外での、吸収量を増加させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。												

		<p>(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
C.5 排出量・ 吸収量の定 量化	C.5.1 不確か なデータの使 用	<p>(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>不確かなデータの使 用</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 使用する</td> <td>(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	不確かなデータの使 用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
	不確かなデータの使 用	説明						
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
	C.5.2 モニタリ ング対象とな らない排出 源・吸収源	<p>(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 存在する</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 存在しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 備考		<p>(モニタリングポイントの設定方法に関する記述)</p> <p>最大 30ha に取りまとめた山林の代表的な樹相で且つ地形的に傾斜の中腹に設定した。 添付した図面を参照して下さい。</p> <p>(モニタリングポイントに対応した資料の準備)</p> <p>樹高の想定には、ワイゼ式樹高測定器を使用し、面積の総量にはコンパスを使用いたします。</p>						

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

<b>D:その他</b>	
D.1 関連する許認可及び関連法令	(想定される関連法令等については、別紙「プロジェクト申請方法について」を参照のこと) 森林・林業基本法 森林法 上記以外該当なし。
D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	森林計画は、森林組合が他の所有者と纏めて提出しており、各森林組合長名で森林計画の認定を受けている森林は長期に渡り(2022年度)まで森林以外の目的に転用する計画が無い事の証明書の発行を申請した。
D.3 その他特記事項	該当なし